

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１９～２２ 台を示し、平年並み～やや低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが１日１統当たり１１トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが１日１統当たり３トンの水揚げで、前週の３．８倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マイワシなどが１日１統当たり１８トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、１日１統当たり６kgの水揚げで、前週の６７％（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり９１kgの水揚げで、前週の７０％（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、１日１統当たり２７kgの水揚げで、前週の１．４倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり５８kgの水揚げで、前週の５１％（前年を下回った）。五島奈留地区では、１日１統当たり７kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 定置網----五島魚目地区では、マアジなどが１日１統当たり１．４トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが１日１統当たり３７４kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが１日１統当たり２４６kgの水揚げ。
- 一本釣----北松宇久地区では、イサキが１日当たり７４０kgの水揚げで、前週の４．５倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（５／３１～６／４の５日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、アカイカ漁、北太平洋出漁中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、４日延１２隻、総計５１８箱、１航海最高７４箱、平均４３．２箱。スルメイカ（２０～３０入）４９１箱、ケンサキイカ（２立半から３立半）２７箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

「第６－８号 五島灘・壱岐水道・対馬東水道（対馬南・対馬南東・対馬東）の観測結果を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>